

三重県内経済情勢（平成 22 年 7 月の指標から）

県内経済は、依然として厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある（生産は持ち直している。個人消費は弱い状況ながら、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いているが、改善の動きがみられる）。

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 2 か月ぶりに低下した。【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 24 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 2 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）も 2 か月連続で前年同月比増となった。

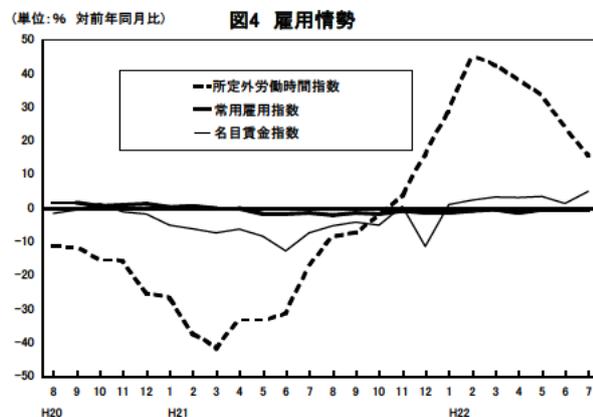
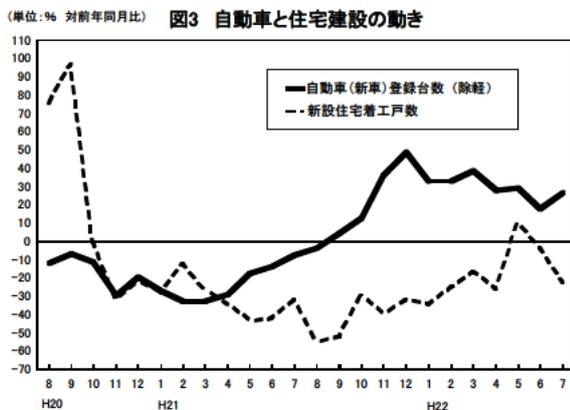
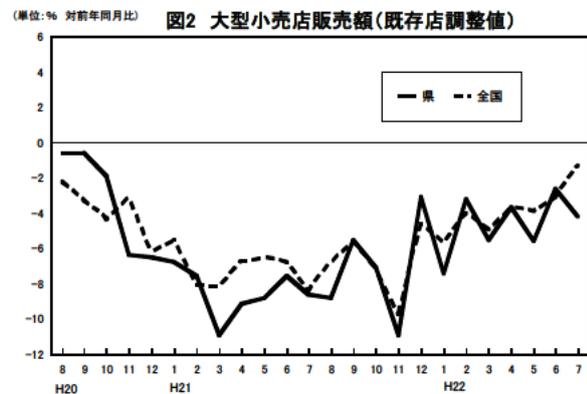
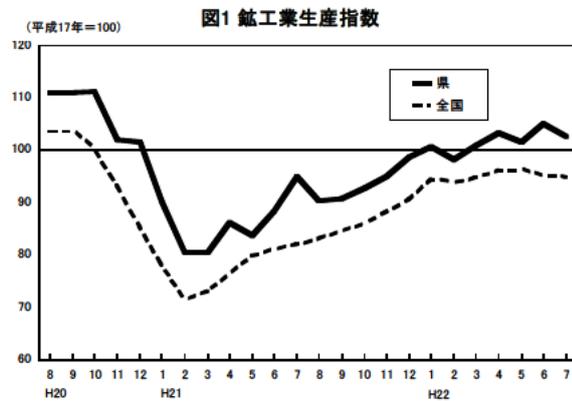
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 11 か月連続で前年同月比増となり【図 3】、軽自動車販売台数も 8 か月連続で前年同月比増となった。

新設住宅着工戸数は 2 か月連続で前年同月比減となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.59 倍となり、前月と同水準だった。

所定外労働時間指数は 9 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 17 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 7 か月連続で前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は102.5となり、前月比2.4%減と2か月ぶりに低下した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（130.1）が前月比9.0%減と2か月ぶりに低下し、化学工業（84.6）も前月比0.4%減と2か月連続で低下したものの、輸送機械工業（84.9）は前月比3.8%増と2か月ぶりに上昇した。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は97.9で、前月比3.8%減と2か月連続で低下した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	4月	5月	6月	7月
鉱工業生産指数	2.4	-1.8	3.6	-2.4
（電気機械工業：旧分類）	16.3	-2.5	9.2	-9.0
（輸送機械工業）	-14.2	3.0	-4.8	3.8
（化学工業）	24.1	0.3	-5.5	-0.4
鉱工業生産指数（全国）	1.3	0.1	-1.1	-0.2
鉱工業生産者製品在庫指数	7.1	2.5	-2.1	-3.8

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比4.2%減と24か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は2か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部8県）も2か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比26.9%増となり11か月連続で増加し、軽自動車販売台数も前年同月比8.4%増となり8か月連続で増加した。全自動車では前年同月比19.9%増と11か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	4月	5月	6月	7月
大型小売店販売額（県内既存店）	-3.7	-5.6	-2.6	-4.2
〃（全国既存店）	-3.7	-3.9	-3.1	-1.3
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	0.1	-0.7	0.5	3.7
家電販売額（8県全店）	6.2	-3.2	3.9	13.6
自動車（新車）登録台数（県内）	28.1	29.1	17.7	26.9
〃（全国）	33.5	28.0	20.6	15.0
軽自動車（新車）販売台数（県内）	6.2	12.6	10.7	8.4
〃（全国）	10.8	12.4	11.8	8.6
自動車・軽自動車 合計（県内）	18.1	22.0	14.9	19.9
〃（全国）	24.1	22.0	17.4	12.9

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は844戸となり、前年同月比22.5%減と2か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	4月	5月	6月	7月
新設住宅着工戸数	-26.5	10.5	-3.9	-22.5
（参考）（持家）	4.5	9.6	10.5	2.2
（貸家）	-47.6	0.3	-38.8	-53.5
（分譲住宅）	-25.7	118.2	97.2	-16.2

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は90億9千5百万円となり、前年同月比31.7%増と2か月連続で増加した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は22億7千2百万円となり前年同月比19.6%減と2か月ぶりに減少し、「地方の機関」からの受注工事額は68億2千3百万円となり前年同月比67.2%増と2か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	4月	5月	6月	7月
受注工事総数（県内）	-7.1	-40.5	64.7	31.7
国の機関	-39.2	-42.0	2.8	-19.6
地方の機関	78.9	-39.9	87.3	67.2
受注工事総数（全国）	-15.3	-18.5	-3.4	-15.0

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.59倍となり、前月と同水準だった。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比15.5%増となり、9か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は前年同月比0.6%減となり、17か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比4.9%増となり、7か月連続で上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は5.2%で、前月に比べ0.1ポイント低下した。

（※前年同月比：％）	4月	5月	6月	7月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.54	0.56	0.59	0.59
"（全国、倍）	0.48	0.50	0.52	0.53
所定外労働時間指数※	37.9	32.9	23.7	15.5
常用雇用指数※	-1.4	-0.4	-0.4	-0.6
名目賃金指数※	3.0	3.4	1.3	4.9
完全失業率（全国）	5.1	5.2	5.3	5.2
（参考）完全失業率（三重県：推計値）	—	—	—	—

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は15件発生した。負債総額は80億9千5百万円（前年同月比409.1%増）となり、2か月ぶりに前年同月比増となった。

（※％：前年同月比）	4月	5月	6月	7月
企業倒産件数（件）	7	15	12	15
負債総額（％）※	-64.7	35.0	-81.6	409.1

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は100.5で、前月比は0.6%下落、前年同月比では0.4%下落した。

（前月比、※前年同月比：％）	4月	5月	6月	7月
消費者物価指数（4市平均）	0.2	0.1	0.2	-0.6
" ※	-1.1	-0.9	-0.5	-0.4
"（全国）	0.0	0.1	0.0	-0.5

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 66.4 となり、前月と比較して 1.9 ポイント下降した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 2 か月ぶりに下回り、28.6%となった。

(※前月差：ポイント)	4月	5月	6月	7月
CI一致指数 ※	3.3	-2.6	2.9	-1.9
3か月後方移動平均※	1.0	-0.3	1.2	-0.5
7か月後方移動平均※	2.8	2.4	2.3	1.1
DI一致指数 (%)	71.4	42.9	85.7	28.6

- 先行指数（7月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 89.5 となり、前月と比較して 5.4 ポイント上昇した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 7 か月ぶりに上回り、66.7%となった。

(※前月差：ポイント)	4月	5月	6月	7月
CI先行指数 ※	-5.3	3.6	-1.5	5.4
3か月後方移動平均※	-1.4	1.0	-1.1	2.5
7か月後方移動平均※	-0.6	-1.2	-2.0	-0.8
DI先行指数 (%)	33.3	50.0	41.7	66.7

